

松下ゆきよし 県政活動レポート

■発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉 ■連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135 TEL (089) 969-3605

愛媛県議会定例会 (平成27年6月)の概要

第342回愛媛県議会定例会が、6月22日から7月10日まで19日間の会期で開催されました。概要をお知らせします。

補正予算などを含む29議案を可決、安全保障関連法案の廃案を求めるなどの15件の請願を不採択、伊方原発再稼動に関する4件の請願(反対2、賛成2)を継続審査としました。

議員発議によるものは、以下のとおりです。

1 議員報酬月額を

5パーセントカット

議員発議の「愛媛県議会議員の議員報酬の特例に関する条例」を原案可決。27年7月から28年3月末まで、議員報酬月額を5パーセントカットします。
82万円 ↓ 77万9千円

2 伊方原発3号機の

再稼動問題と特別委員会

当面する県政の課題に対処するため4つの特別委員会を設置しました。

- ① 地方創生・人口問題調査特別委員会
- ② エネルギー・危機管理対策特別委員会

- ③ 行政改革・地方分権特別委員会
- ※この特別委員会の委員となりました。
- ④ 少子・高齢化社会対策特別委員会

伊方原発3号機の再稼動問題は、議会では「エネルギー・危機管理対策特別委員会」で、調査します。委員は12名で、自民党7名、社民1名、維新1名、公明1名、共産党1名、無所属1名となっています。



なお、以下の伊方原発再稼動に関する請願が、エネルギー・危機管理対策特別委員会に付託されましたが、6月議会中には結論が出ず、継続審査となりました。

- ▼伊方原子力発電所3号機の早期再稼動を求めることについて
- ▼伊方原子力発電所の一日も早い再稼動を求めることについて
- ▼伊方原発の再稼動をさせないよう意思表示し、批判力のある専門家を招き検証を行うことを求めることについて
- ▼佐田岬半島の住民が、伊方原発の過酷事故時における県の広域避難計画の実効性が確保されると納得するまで伊方原発の再稼動をしないよう求めることについて

- ※1 可決した29議案の内訳は、予算1、条例10、その他7、人事4、意見書5、決議2となっています。
- ※2 国や地方公共団体に意見や要望、苦情の要請を行う事。請願は、当該議会議員の紹介を必要とし、文書(請願書)を提出することが原則。形式は議会により若干の違いがあります。

一言

再稼動するための手続きについて決められたものは、原子力安全規制委員会が行う①原子炉設置変更許可②保安規定③工事計画書の認可です。

地元の意見(同意)は法律で必要とされたものではなく、民主的な手続きとして求められているものです。また、地元がどこまでの範囲か、誰が同意するかは議論の分かれるところとなっています。

鹿児島県川内原発の場合は、原発のある川内市の市長と市議会、鹿児島県知事と鹿児島県議会が同意者となっています。議会は、再稼動を求める請願の採決により意思表示をしています。

3 意見書

議員発議で、次の意見書の提案があり、可決されました。

※3

①ドクターヘリの導入・運航に対する支援の拡充を求める意見書

↓ドクターヘリの円滑な導入や運航支援の拡充について国に要望します。

②諸外国・地域における農林水産物の輸入規制の早期撤廃に向けた措置を求める意見書

↓諸外国の科学的根拠に基づかない農林水産物等の輸入規制措置を撤廃し、輸出が円滑に行える措置を講ずるよう国に要望します。

③農業の持続的な発展を支える農業生産基盤整備の推進・強化を求める意見書

↓農業農村整備事業に係る予算を充実するよう国に要望します。

④果樹経営支援対策の充実・強化を求める意見書

↓果樹産地の実情に応じた支援対策を充実・強化し、農家所得の安定と競争力の強化を図れるよう、国に要望します。

⑤森林整備の推進と林業の成長産業化を求める意見書

↓森林の有する多面的機能の発揮や、林業の持続的かつ健全な発展の必要性を踏まえ、森林整備の推進と林業の成長産業化を図るよう国に要望します。

なお、年金積立金の運用に関する意見書(注)は、否決されました。

注：年金積立金管理運用独立行政法人が、年金積立金の運用において国内株式の比率を引き上げることとしたことについて、反対の意見書です。

4 中国・陝西省との友好都市提携に関する決議

中国・陝西省と愛媛県は、四国八十八ヶ所を縁に深い絆で結ばれ、これまで訪問団の相互派遣等の交流が進められてきました。

このことを踏まえ中村知事に対して、友好都市関係の樹立に関する協議書が早期に締結されるよう要請しました。

知事ほか関係者が陝西省を訪問し、7月30日に西安市で、陝西省政府と愛媛県が友好都市協定を結ぶとともに、愛媛大学と西安交通大学が協定を結びました。

※私も、日中友好議員連盟の一員として参加しました。

※3公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。議員が発案して本会議にはかり、議長名で関係機関(主に国)に提出する。

補正予算

予算は、一般会計で60億5,057万円の補正予算がありました。一般会計は、累計で6,392億7,857万円(前年同期比4.27パーセント増)となっています。

重要課題への対応強化	17億3,934万円
介護サービスの充実	10億4,227万円
子育て支援、医療・福祉の充実	2億1,690万円
自転車新文化の普及拡大	430万円
教育・スポーツの振興	7,809万円
自然環境の保全	6,547万円
その他(再生可能エネルギー発電設備の導入)	3億3,223万円
公共事業の追加による県内企業の下支え	43億1,123万円
道路橋梁新設改良費 <small>きょうりょう</small>	35億8,924万円
河川改良費	2億6,995万円
海岸保全費	4億5,204万円
計	60億5,057万円